

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和5年9月27日

①学校名:	聖隷クリストファー大 学 大学院(私立)	②所在地:	静岡県浜松市北区三方原町3453		
③課程名:	看護学研究科看護学専攻博士前期 課程高度実践看護コースプライマリ ケアNPプログラム	④正規課程/ 履修証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	令和6年4月1 日
⑥責任者:	研究科長 榎原理恵	⑦定員:	看護学研究科博士前期課程10 名(令和6年度新規開設のためプ ライマリケアNPプログラム修了者0名)	⑧期間:	2年間
⑨申請する課程 の目的・概要:	<p><b>【教育目的】</b> 建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基盤とする倫理観を身につけ、広い視野に 立って学識を深め、看護学における高い研究・実践力を持つ高度専門職業人を育成する。</p> <p><b>【教育目標】</b> 看護学における高い研究・実践力を持つ高度専門職業人に必要な学識・技能を修得するために、建学の精神 に基づいた倫理観を纏い、看護学分野におけるより良い実践に必要な課題を明確にするとともに、課題解決 に向けて探求する能力を育成する。看護学における質の向上を目指し、学問的に発展するための研究力を育 成する。高度実践看護学教育課程では、各専門分野における高度実践看護専門職として、科学的根拠に基 づいた知識と技能を有し、高い分析力・判断力を身につけ、卓越した実践能力を育成する。</p> <p><b>【概要】</b> 日本NP教育大学院協議会の認定を受けたNP(診療看護師)教育課程において、厚生労働省の承認を受けた 8区分17行為の特定行為研修を修了し、プライマリケアの分野で医療行為を安全に実施する能力を身につけ たNPを育成する。</p>				
⑩10テーマへの 該当	医療・介護	⑪履修資格:	次のいずれかに該当する者 (1)学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または入学時までに 卒業見込みの者 (2)学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者 または入学時までに授与される見込みの者 (3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または入 学時までに修了見込みの者 (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履 修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した 者または入学時までに修了見込みの者 (5)我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の 学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大 臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または入学時までに修 了見込みの者 (6)専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部 科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に 指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または入 学時までに修了見込みの者 (7)文部科学大臣の指定した者 (8)本大学院が、入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の 学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達したもの ※看護学研究科「社会人選抜」に出願することができる者は、次の①お よび②に該当する者 ①上記の出願資格(1)～(8)のいずれかに該当する者 ②入学時点で5 年以上の実務経験を有する者		
⑫対象とする職 業の種類:	5年以上の実務経験がある看護師				

<p>⑬身に付けることのできる能力:</p>	<p>(身に付けられる知識、技術、技能)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、看護学分野の質の高い実践、教育・研究に反映することができる。</li> <li>2. エビデンスに基づいた実践や研究を行うために、看護学分野及び関連諸科学における主要な理論・概念を深め、問題解決を図ることができる。</li> <li>3. 看護学分野及び関連諸科学の幅広い視野をもち、俯瞰的なものの見方と専門的応用力を発揮して、専門性の高い活動を実践することができる。</li> <li>4. 看護学分野の専攻領域における研究課題に取り組み、独創的な研究テーマを設定して研究計画を立案することができる。</li> <li>5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・データ分析・考察を適切に行い、基礎的研究を実施することができる。</li> <li>6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通し、人々の健康、福祉、安寧に貢献することができる。</li> <li>7. 学術的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。</li> <li>8. 臨床判断、治療の管理、治療効果の判断に必要な高い専門知識</li> <li>9. 特定行為(8区分17行為)の技術</li> </ol>	<p>(得られる能力)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を反映した研究力、看護実践力</li> <li>2. 論理的思考力を身につけて諸課題の解決に向けて分析する能力</li> <li>3. 幅広い視野を持ち、俯瞰的なものの見方をもった課題解決力</li> <li>4. 研究課題を基にした具体的な研究計画を立案する能力</li> <li>5. 論文執筆力、研究の発信力</li> <li>6. 他の専門職や研究者と連携・協働できる、適切なコミュニケーション力</li> <li>7. 海外の専門家や学生と交流できるコミュニケーション力</li> <li>8. 人々の健康、福祉、安寧に貢献し、看護学・看護実践を追及する自己学修力と自己評価できる能力</li> <li>9. プライマリケアに関連した臨床判断、治療の管理、治療効果の判断を自律的に実践する能力</li> <li>10. 医師並びに多職種と連携・協働する能力</li> <li>11. 対象者の意思決定を尊重しながら医療・看護を実践する能力</li> <li>12. 実践課題を解決するための研究能力</li> </ol>				
<p>⑭教育課程:</p>	<p>【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】 教育理念・目的及び卒業認定・学位授与の方針、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と関連諸学の幅広い知識を修得するための科目を置く(共通科目)。</li> <li>2. 各専門分野の基盤となる主要な概念と理論及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く(基盤科目)。</li> <li>3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く(専門科目)。</li> <li>4. 高度看護実践に必要な臨床判断、治療の管理、治療効果の判断を自律的に実践するための能力を修得し、包括的健康アセスメント能力をもち、エビデンスに基づいた知識と技術の健康教育を効果的に実践するための資格認定に必要な科目を置く(基盤科目、専門科目)。</li> </ol> <p>【教育課程の構成】 [共通科目] 看護学・社会福祉学およびリハビリテーション科学と関連の深い諸科学について理解を深めるために、「健康増進・医療経済政策特論」「心理学特論」など他研究科博士前期課程と共通する12の科目を配置している。 [基盤科目] 看護学研究の基礎となる「看護理論」「看護研究方法」の必修2科目を置くとともに、看護研究に関わる知識を拡大し看護の専門性を追求するために必要な「看護倫理」「看護政策論」「看護コンサルテーション」の必修3科目の他選択1科目を配置し、さらにプライマリケアの分野で医療行為を安全に実施する能力を身につけるために必要な「臨床病態生理学・疾病概論」など必修8科目を配置している。 [専門科目] NP資格認定試験の指定科目として認定された特論、特論演習、実習、課題研究の12科目を配置している。プライマリケア看護学特論Ⅰ・Ⅱでは、プライマリケアNPに必要な能力、役割、責任に関する知識を講義、ディスカッションにより習得する。プライマリケア看護学特論演習Ⅰ～Ⅵでは、特定行為に伴う知識、技術の習得を含めプライマリケア場面において遭遇する主な症候について、症状アセスメントや鑑別診断に必要な臨床推論のプロセスや技術を講義や演習により修得する。プライマリケア看護学実習Ⅰ～Ⅲでは、段階的に技術の習得を目指し、多様な臨床場面において、対象を医学的知識にもとづき生命と生活の両面から包括的にアセスメントするための基礎的能力と、特定行為を含めた医療実践を安全に行うための基礎的な実践能力を高めプライマリケアNPとしての倫理観を養い、自らの看護実践を見直し標準化する能力を修得する。プライマリケア看護学課題研究では、看護実践の中からプライマリケア領域で関心のある課題を取り上げ、教員とのゼミナール、グループワークを通し高い分析力・判断力を身につけるとともに看護実践の質向上に資する能力を修得する。</p>					
<p>⑮修了要件(修了授業時数等):</p>	<p>本研究科に2年以上在学して、55単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、課題研究論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>					
<p>⑯修了時に付与される学位・資格等:</p>	<p>修士(看護学)、NP資格認定試験受験資格(日本NP教育大学院協議会)</p>					
<p>⑰総授業時数:</p>	<p>79 単位</p>	<p>⑱要件該当授業時数:</p>	<p>71単位</p>	<p>該当要件</p>	<p>双方向、実務家、実地</p>	<p>⑲要件該当授業時数／総授業時数: 90 %</p>
<p>⑳成績評価の方法:</p>	<p>各授業科目の単位修得の認定は、試験または研究報告により担当教員が行う。担当教員はシラバスに科目ごとに具体的な評価方法とその割合を提示する。</p>					

②自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に基づき「聖隷クリストファー大学自己点検・評価に関する規程」を定め、自己点検・評価運営委員会および大学部長会において自己点検・評価を行い、結果を公表している。各部門(大学院においては研究科委員会)を実施組織とし、点検評価の年間計画(内部質保証年間計画表)に基づき、「評価基準の自己点検評価」「教育研究年間活動評価」「教学マネジメント評価」の様式を用いて1年間のPDCAサイクルで自己点検・評価を行い、改善事項と必要な取り組みを確認し、実施している。また、大学として大学基準協会の認証評価を受審している。
②修了者の状況に係る効果検証の方法:	毎年度修了生を対象に、本研究科の教育課程に対する無記名の授業アンケートを実施し、学生からの評価(満足度を含む)を教育課程の改編と教育研究環境の充実に向けた検討資料として活用する。修了後の進路および職場における役割の変化について、修了時および修了後定期的に修了生アンケートにより調査し、「当専攻での学修の有用性」についても調査する。
③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 本学大学院看護学研究科教員や看護研修センター教員を構成員とする本学看護継続教育委員会が主催し、実習施設の看護部を構成員とする「看護基礎教育等に関する懇談会」を年に1~2回定期的に開催し、教育課程の編成について検討し、外部機関の意見を取り入れる。
	(自己点検・評価) 本学大学院看護学研究科教員や看護研修センター教員を構成員とする本学看護継続教育委員会が主催し、実習施設の看護部を構成員とする「看護基礎教育等に関する懇談会」を年に1~2回定期的に開催し、自己点検・評価結果について共有し、外部機関の意見を取り入れる。
④社会人が受講しやすい工夫:	夜間および土曜開講、長期在学コース(3年)
⑤ホームページ:	<a href="https://www.seirei.ac.jp/graduate/about/nursing/first-term/">https://www.seirei.ac.jp/graduate/about/nursing/first-term/</a>

事務担当者名:	中村 憲司	担当部署:	総務部
事務担当者連絡先:	(電話番号) 053-439-1400 (担当係E-mail) somu-office@seirei.ac.jp (担当者E-mail) kenji-n@seirei.ac.jp		

\* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

\* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。

(様式2)

## 授業科目の概要について

学校等名:	聖隷クリストファー大学大学院
課程名:	看護学研究科看護学専攻博士前期課程高度実践看護コースプライマリケアNPプログラム

要件該当授業時数:	71単位
要件該当授業時数/総授業時数:	90%

分類	No	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
自由選択	1	キリスト教倫理特論	1	2					永井英司	聖隷クリストファー大学社会福祉学研究所
自由選択	2	保健医療倫理学特論	1	2		○	○		大石ふみ子 宮谷恵 藤浪千種	聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員)
自由選択	3	健康増進・医療経済政策特論	1	2		○			西川浩昭	聖隷クリストファー大学看護学研究科
自由選択	4	臨床疫学特論－EBM実践入門－	1	2		○			西川浩昭	聖隷クリストファー大学看護学研究科
自由選択	5	実験的研究法	1	2		○			矢倉千昭 櫻原理恵	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員)
自由選択	6	社会調査特論	1	2					大場義貴	聖隷クリストファー大学社会福祉学研究所
自由選択	7	人体構造・機能学特論	1	2		○	○		顧寿智 丹羽宏 三橋孝 石崎久義	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科 聖隷保健事業部地域・企業健診センター みつはし医院 石崎耳鼻咽喉科
自由選択	8	心理学特論	1	2		○			藤田美枝子	聖隷クリストファー大学社会福祉学研究所
自由選択	9	教育方法学特論	1	2		○			藤崎和彦	岐阜大学医学部医学教育開発研究センター
自由選択	10	保健科学英語特論	1	2					Patterson	聖隷クリストファー大学社会福祉学研究所
自由選択	11	マネジメント論	1	2					武居敏	社会福祉法人聖隷福祉事業団
自由選択	12	教育工学特論	1	2		○			津森伸一	聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科
必修	13	看護理論	1	2		○	○		市江和子 入江拓 大石ふみ子 河口てる子	聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員)
必修	14	看護研究方法	1	2		○	○		櫻原理恵 市江和子 佐久間佐織	聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員)
必修	15	看護倫理	1	2		○	○		大石ふみ子 宮谷恵 藤浪千種 乾友紀	聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員)
自由選択	16	看護管理論	1	2		○	○		鶴田恵子	聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員)
必修	17	看護政策論	1	2		○	○		櫻原理恵 勝又浜子 吉村浩美 川村佐和子	聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 公益社団法人日本看護協会 日本看護協会看護研修学校 聖隷クリストファー大学名誉教授(実務家教員)
必修	18	看護コンサルテーション論	1	2		○	○		宮谷恵 市江和子 大石ふみ子 乾友紀 大木純子 桑原美香 佐久間由美	聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリストファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷三方原病院 聖隷三方原病院 聖隷三方原病院
必修	19	臨床病態生理学・疾病概論	1	2			○		東本恭幸 小川薫 小川真 山崎一人 戸叶隆司 桐野衛二 中井章人 奈倉道明 清水一雄 山田京志 平原佐斗司	放送大学大学院文化科学研究科 順天堂大学名誉教授 元千葉県立保健医療大学 帝京大学ちば総合医療センター 順天堂大学医学部附属浦安病院 順天堂大学医学部 日本医科大学多摩永山病院 埼玉医科大学総合医療センター 日本医科大学名誉教授 順天堂大学医学部附属順天堂医院 東京ふれあい医療生活協同組合視原診療所
必修	20	臨床推論	1	1			○		北村聖 山脇正永 内藤俊夫 桐生茂	地域医療研究所 東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科 順天堂大学大学院医学研究科 国際医療福祉大学医学研究科

分類	No	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	21	フィジカルアセスメント特論Ⅰ	1	1			○		山内豊明	放送大学大学院文化科学研究科(実務家教員)
必修	22	フィジカルアセスメント特論Ⅱ	1	1		○	○		橋積亜希子 宮谷恵 佐久間佐織	聖隷浜松病院 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員)
必修	23	臨床薬理学特論Ⅰ	1	1			○		柳田俊彦	宮崎大学医学部
必修	24	臨床薬理学特論Ⅱ	1	2			○		川村和美 中山法子	株式会社ILホールディングス 糖尿病ケアサポートオフィス
必修	25	医療安全・特定行為実践特論	1	1			○		石井邦子 木澤晃代 鮎澤純子 栗原博之 後信 土島智幸 江村正 大塚真理子 吉村学	千葉県立保健医療大学育成支援看護学領域 日本看護協会 九州大学大学院医学系学府 公益財団法人日本医療機能評価機構 九州大学病院医療安全管理部 医療法人稲生会 佐賀大学医学教育開発部門 長野県看護大学 宮崎大学医学部
必修	26	特定行為共通科目演習	1	1			○	○	山内豊明 北村聖 三笠里香 栗原博之 土島智幸	放送大学 地域医療研究所 熊本大学大学院生命科学研究部 公益財団法人日本医療機能評価機構 医療法人稲生会
必修	27	プライマリケア看護学特論Ⅰ	1	2			○		井上真知子 松田真和 橋積亜希子 中山法子 エクランド源雅子 川村佐和子 本田彰子 鶴田恵子 宮谷恵 田口実里	浜松医科大学医学部 菊川市家庭医療センター 聖隷浜松病院 糖尿病ケアサポートオフィス Pediatric Medical Group Tennessee 聖隷クリスファー大学名誉教授(実務家教員) 東京医科大学看護学科(実務家教員) 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員)
必修	28	プライマリケア看護学特論Ⅱ	2	2			○		松田真和 綱分信二 樋口智也 杉本昌宏 橋積亜希子 吉岡さおり エクランド源雅子 宮谷恵 河口てる子 清水隆裕 山村江美子 櫻原理恵	菊川市家庭医療センター 御前崎市家庭医療センターしろわクリニック 浜松医科大学地域家庭医療学講座 北斗わかば病院 聖隷浜松病院 京都府立医科大学保健看護学研究科(実務家教員) Pediatric Medical Group Tennessee 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員)
必修	29	プライマリケア看護学特論演習Ⅰ	1	2			○	○	松田真和 橋積亜希子 佐久間佐織	菊川市家庭医療センター 聖隷浜松病院 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員)
必修	30	プライマリケア看護学特論演習Ⅱ	1	2			○		渡邊卓哉 橋積亜希子 佐久間佐織 杉本昌宏	聖隷浜松病院 聖隷浜松病院 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員) 北斗わかば病院
必修	31	プライマリケア看護学特論演習Ⅲ	1	2			○		杉本昌宏 橋積亜希子 佐久間佐織	北斗わかば病院 聖隷浜松病院 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員)
必修	32	プライマリケア看護学特論演習Ⅳ	1	2			○		雑賀厚臣 中嶋裕 中山法子 川村和美 橋積亜希子	聖隷浜松病院 山口県立総合医療センター 糖尿病ケアサポートオフィス 株式会社ILホールディングス 聖隷浜松病院
必修	33	プライマリケア看護学特論演習Ⅴ	1	2			○		岡俊明 橋積亜希子 川村和美	聖隷浜松病院 聖隷浜松病院 株式会社ILホールディングス
必修	34	プライマリケア看護学特論演習Ⅵ	1	2			○		杉本昌宏 橋積亜希子 川村和美 小平朋江 清水隆裕 西村克彦	北斗わかば病院 聖隷浜松病院 株式会社ILホールディングス 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員) 聖隷三方原病院

分類	No	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	35	プライマリケア看護学実習Ⅰ	1	1			○	○	渡邊卓哉	聖隷浜松病院
									本間陽一郎	聖隷浜松病院
									齋藤一仁	聖隷浜松病院
									本田優希	聖隷浜松病院
									鈴木千佳代	聖隷浜松病院
									橋積亜希子	聖隷浜松病院
									佐久間佐織	聖隷(リ)スツァー-大学看護学研究科(実務家教員)
必修	36	プライマリケア看護学実習Ⅱ	2	6			○	○	渡邊卓哉	聖隷浜松病院
									橋積亜希子	聖隷浜松病院
									佐久間佐織	聖隷(リ)スツァー-大学看護学研究科(実務家教員)
									本間陽一郎	聖隷浜松病院
									齋藤一仁	聖隷浜松病院
									本田優希	聖隷浜松病院
									鈴木千佳代	聖隷浜松病院
									林美恵子	聖隷浜松病院
									大杉純子	聖隷浜松病院
									松田真和	菊川市家庭医療センター
									潘鎮敬	菊川市家庭医療センター
									稲葉史明	菊川市家庭医療センター
									棚橋信子	森町家庭医療クリニック
									鳴本敬一郎	森町家庭医療クリニック
									濱野孝	聖隷浜松病院
									本間一成	聖隷浜松病院
									佐藤慶史郎	聖隷浜松病院
									青木茂	坂の上ファミリークリニック
									三輪真史	坂の上ファミリークリニック
									西澤由佳	坂の上ファミリークリニック
									小野宏志	坂の上ファミリークリニック
									坂田稔之	坂の上在宅医療支援医院
									佐々木一義	坂の上ファミリークリニック
									中村明子	坂の上ファミリークリニック
									岡村純	聖隷浜松病院
									中戸川裕一	聖隷浜松病院
									山添知宏	聖隷浜松病院
									雑賀厚臣	聖隷浜松病院
									小粥雅明	聖隷浜松病院
									藤田博文	聖隷三方原病院
									木村泰生	聖隷三方原病院
									山川純一	聖隷三方原病院
									丸山翔子	聖隷三方原病院
									山根秘我	聖隷三方原病院
									秋山真吾	聖隷三方原病院
									白濱茂穂	聖隷三方原病院
									大場操	聖隷三方原病院
									辻本賢樹	聖隷三方原病院
									城守優子	聖隷三方原病院
									吉岡日香里	聖隷三方原病院
									佐奈明彦	聖隷三方原病院
									鈴木幸子	聖隷三方原病院
									澤田かおり	聖隷三方原病院
									杉浦亮	聖隷浜松病院
									逸見隆太	聖隷浜松病院
									後藤雅之	聖隷浜松病院
									鈴木利章	聖隷浜松病院
渥美生弘	聖隷浜松病院									
田中茂	聖隷浜松病院									
諏訪大八郎	聖隷浜松病院									
土手尚	聖隷浜松病院									
木島一美	聖隷浜松病院									
西村克彦	聖隷三方原病院									
磯貝聡	聖隷三方原病院									
栗田大輔	聖隷三方原病院									
大城由紀子	聖隷三方原病院									
佐野博康	聖隷三方原病院									
佐藤晶子	聖隷三方原病院									
阿部ゆみ子	聖隷三方原病院									
鈴木淳	聖隷三方原病院									
江原誠子	聖隷三方原病院									

分類	No	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	37	プライマリケア看護学実習Ⅲ	2	8			○	○	松田真和	菊川市家庭医療センター
									綱分信二	御前崎市家庭医療センターしろわクリニック
									中嶋裕	山口県立総合医療センター
									中山法子	糖尿病ケアサポートオフィス
									渡邊卓哉	聖隷浜松病院
									橋積亜希子	聖隷浜松病院
									佐久間佐織	聖隷クリスティー大学看護学研究科(実務家教員)
									本間陽一郎	聖隷浜松病院
									齋藤一仁	聖隷浜松病院
									本田優希	聖隷浜松病院
									鈴木千佳代	聖隷浜松病院
									林美恵子	聖隷浜松病院
									大杉純子	聖隷浜松病院
									潘鎮敬	菊川市家庭医療センター
									稲葉史明	菊川市家庭医療センター
									棚橋信子	森町家庭医療クリニック
									鳴本敬一郎	森町家庭医療クリニック
									濱野孝	聖隷浜松病院
									本間一成	聖隷浜松病院
									佐藤慶史郎	聖隷浜松病院
									青木茂	坂の上ファミリークリニック
									三輪真史	坂の上ファミリークリニック
									西澤由佳	坂の上ファミリークリニック
									小野宏志	坂の上ファミリークリニック
									坂田稔之	坂の上在宅医療支援医院
									佐々木一義	坂の上ファミリークリニック
									中村明子	坂の上ファミリークリニック
									岡村純	聖隷浜松病院
									中戸川裕一	聖隷浜松病院
									山添知宏	聖隷浜松病院
									雑賀厚臣	聖隷浜松病院
									小粥雅明	聖隷浜松病院
									藤田博文	聖隷三方原病院
									木村泰生	聖隷三方原病院
									山川純一	聖隷三方原病院
									丸山翔子	聖隷三方原病院
									山根秘我	聖隷三方原病院
									秋山真吾	聖隷三方原病院
									白濱茂穂	聖隷三方原病院
									大場操	聖隷三方原病院
									辻本賢樹	聖隷三方原病院
									城守優子	聖隷三方原病院
									吉岡日香里	聖隷三方原病院
									佐奈明彦	聖隷三方原病院
									鈴木幸子	聖隷三方原病院
									澤田かおり	聖隷三方原病院
									杉浦亮	聖隷浜松病院
									逸見隆太	聖隷浜松病院
									後藤雅之	聖隷浜松病院
									鈴木利章	聖隷浜松病院
									渥美生弘	聖隷浜松病院
									田中茂	聖隷浜松病院
									諏訪大八郎	聖隷浜松病院
									土手尚	聖隷浜松病院
									木島一美	聖隷浜松病院
									西村克彦	聖隷三方原病院
									磯貝聡	聖隷三方原病院
									栗田大輔	聖隷三方原病院
									大城由紀子	聖隷三方原病院
									佐野博康	聖隷三方原病院
									佐藤晶子	聖隷三方原病院
									阿部ゆみ子	聖隷三方原病院
									鈴木淳	聖隷三方原病院
									江原誠子	聖隷三方原病院

分類	No	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	38	プライマリケア看護学課題研究	1-2	2		○	○		榎原理恵	聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員)
									河口てる子	聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員)
									佐久間佐織	聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員)
									山村江美子	聖隷クリスファー大学看護学研究科(実務家教員)
合計:		38科目		79 単位						

\* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

\* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。